

再処理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)				合計 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	プラスチック 固化体	その他の種類 (本相当)	
核燃料サイクル開発機構 東海事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	31,739	29,967	1,760	10,793	74,259
	当該年度の発生量	343	0	0	372	715
	当該年度の減少量	920	0	0	0	920
	年度末の保管量	31,162	29,967	1,760	11,165	74,054
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	1,476	-	-	5,752	7,228
	当該年度の発生量	320	-	-	640	960
	当該年度の減少量	0	-	-	0	0
	年度末の保管量	1,796	-	-	6,392	8,188

(続き)

施設名		貯蔵設備 容量 (本相当)
核燃料サイクル開発機構 東海事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	92,140
	当該年度の発生量	
	当該年度の減少量	
	年度末の保管量	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	*1 61,350
	当該年度の発生量	
	当該年度の減少量	
	年度末の保管量	

施設名		高放射性固体廃棄物 (本相当)			合計 (本相当)	貯蔵設備 容量 (本相当)
		せん断 被覆片等	使用済 フィル等	試料ビン等		
核燃料サイクル開発機構 東海事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	130	4	30	164	10,320
	当該年度の減少量	0	0	0	0	
	年度末の保管量	4,533	293	1,255	6,081	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	-	-	-	-	-
	当該年度の減少量	-	-	-	-	-
	年度末の保管量	-	-	-	-	-

施設名		*2 ガラス 固化体 (本)	低レベル液体廃棄物 (m <sup>3</sup> )			高レベル 液体廃棄物 (m <sup>3</sup> )
			低放射性 濃縮廃液	スラッジ	廃溶媒	
核燃料サイクル開発機構 東海事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	39	*3 178	3	*4 17	45
	当該年度の減少量	0	0	0	0	58
	年度末の保管量	169	2,220	1,110	103	412
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	-	-	-	-	-
	当該年度の減少量	-	-	-	-	-
	年度末の保管量	-	-	-	-	-

\*1 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽(約190m<sup>3</sup>/基×3基)分の2,850本相当分を含む。

\*2 120リットル容器。

\*3 ライン洗浄水等を含む。

\*4 水相を含む。

廃棄物埋設施設、廃棄物管理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)			合計 (本相当)	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	その他の種類 (本相当)		
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	前年度末の保管量	0	-	0	0	80
	当該年度の発生量	0	-	0	0	
	当該年度の減少量	0	-	0	0	
	年度末の保管量	0	-	0	0	
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	前年度末の保管量	492	-	28	520	1,200
	当該年度の発生量	32	-	0	32	
	当該年度の減少量	0	-	0	0	
	年度末の保管量	524	-	28	552	
日本原子力研究所 東海研究所 (廃棄物埋設施設) *1	前年度末の保管量	-	-	-	-	-
	当該年度の発生量	-	-	-	-	
	当該年度の減少量	-	-	-	-	
	年度末の保管量	-	-	-	-	
日本原子力研究所 大洗研究所 (廃棄物管理施設) *2	前年度末の保管量	(427) 15,208	506	(30) 10,622	(457) 26,336	42,795
	当該年度の発生量	(18) 317	7	(10) 237	(28) 561	
	当該年度の減少量	0	0	0	0	
	年度末の保管量	(445) 15,525	513	(40) 10,859	(485) 26,897	

施設名		低レベル 液体廃棄物 (m <sup>3</sup> )
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	当該年度の発生量	-
	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	-
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	当該年度の発生量	0
	当該年度の減少量	0
	年度末の保管量	0
日本原子力研究所 東海研究所 (廃棄物埋設施設) *1	当該年度の発生量	-
	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	-
日本原子力研究所 大洗研究所 (廃棄物管理施設)	当該年度の発生量	-
	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	-

\*1 放射性固体廃棄物及び放射性液体廃棄物の貯蔵設備はない。  
JPDRの解体に伴う固体廃棄物約1,670トンが埋設されている。

\*2 ( )内の数値は当該施設からの発生量で下段の数値の内数。下段の数値は管理施設での管理量合計を示す。  
貯蔵設備容量は、加工施設・廃棄物埋設施設用を含む。